

受講料無料

各担当課にご回覧をお願いいたします。

経済調査会 情報サービスに関するセミナー(オンライン開催)

講演 1 発注者側の要求定義の課題と事例

講演 2 データ活用推進におけるメタデータ管理の必要性と方法を学ぶ

主催：一般財団法人経済調査会 経済調査研究所

日時

2021年10月6日(水)
15:00 ~ 17:10

定員

50名

先着順

※本セミナーは Zoom を使った LIVE 配信セミナーです。

【第1部】15:00 ~ 16:00

発注者側の要求定義の課題と事例

講師：森崎 修司
名古屋大学
大学院情報学研究科 准教授

【第2部】16:10 ~ 17:10

データ活用推進におけるメタデータ管理の必要性と方法を学ぶ

講師：伊藤 洋一
株式会社データ総研
シニアコンサルタントマネージャ
データマネジメントスクール責任者

ソフトウェア開発プロジェクトの成否に大きな影響をあたえるキーワードとして要件定義とデータマネジメントがあります。ユーザ企業が責任を持って要件を定義するというだけでなく、昨今の DX などの戦略的システム構築のためにはベンダ企業とともに協力して、多様なデータを収集、蓄積、分析してデータマネジメントすることが重要となっています。

本セミナーの第1部では、講演者がとりまとめを務め IPA が 2019 年に発刊した「ユーザのための要件定義ガイド 第2版」についてご紹介します。また、ユーザのための要求のコミュニケーション分析事例、後続工程での開発活動による要求の妥当性確認事例をご紹介します。

また、第2部では、DX 推進におけるデータマネジメントの必要性をご理解いただき、そのデータマネジメントに欠かせないメタデータ管理について、管理の目的・管理方法・管理を担う人材の育成方法をご紹介します。

お問い合わせ
お申込み

一般財団法人経済調査会 調査研究部 第二調査研究室

メール: software@zai-keicho.or.jp

TEL : 03-5777-8212

※ 申込み方法は裏面をご参照下さい。

FAX : 03-5777-8227

ご 挨拶

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当会の諸事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび当会では、情報システムの調達やプロジェクト管理に携わる方々を対象とした「ソフトウェア開発に関するセミナー」を開催することといたしました。開催要領は、以下のとおりです。

ご多忙の折とは存じますが、この機会に是非ともご参加賜りますようご案内申し上げます。

謹白

開 催 要 領	
1. テーマ / 講師	<第1部> 15:00 ~ 16:00 「発注者側の要求定義の課題と事例」 講師：森崎 修司 名古屋大学 大学院情報学研究科 准教授 <第2部> 16:10 ~ 17:10 「データ活用推進におけるメタデータ管理の必要性と方法を学ぶ」 講師：伊藤 洋一 株式会社データ総研 シニアコンサルタントマネージャ データマネジメントスクール責任者
2. 開催日時	2021年10月6日(水) 15:00~17:10 (受付14:40 ~、開会14:55~)
3. 開催方法	オンライン形式 (ZOOMを使用します)
4. 対象者	情報システムの企画・開発に係る方を対象とします。
5. 受講料	無 料
6. テキスト	第1部 専用テキスト (無料) 第2部 専用テキスト (無料)
7. 申込方法	4ページの「受講までの流れ」をご確認いただき、 <u>メールまたはファックスにてお申し込みください。</u>
8. 申込締切	定員 (50名) になり次第締め切らせていただきます。



第1部「発注者側の要求定義の課題と事例」について

情報システムの役割が多岐にわたり関係者も多様かつ多数になってきています。また、デジタルトランスフォーメーション(DX)をはじめとして情報システムの高度利用に対する期待も大きくなっています。それに伴い、業務効率やビジネス面での効果に対する要求も高度化し、開発プロジェクトを予定通り完了するだけでは十分でなくなりつつあります。また、機械学習モデル(AI)のような試行結果によってはシステム化対象が変わったり業務が変更になったりするような場合もあり、発注者側での準備もより重要になってきています。

本講演では、そうした状況に対応するために、講演者がとりまとめを務め IPA が 2019 年に発刊した「ユーザのための要件定義ガイド 第2版」をご紹介します。また、要求のコミュニケーション分析事例、後続工程での開発活動による要求の妥当性確認事例を紹介し、最後に、機械学習モデルで一部の業務を置き換えるような開発で起こりがちな課題と対策をご紹介します。

< 構成 >

- ・背景：情報システムをとりまく状況
- ・ユーザのための要件定義ガイド第2版の紹介
 ガイド作成の方針とガイドの構成
 ビジネス要求とシステム要求
- ・事例1～4：アプリケーションオーナー制度による参加意識醸成など
- ・新技術を含むシステムでの課題と対策

第2部「データ活用推進におけるメタデータ管理の必要性と方法を学ぶ」について

昨今、多くの企業では、データ活用の促進を経営戦略の中核に据えられています。

しかし、いざ進めてみると、アナリティクスに必要なデータが揃わず、データ活用が促進されないという問題が出てきました。その背景に以下の点が挙げられています。

- ・どこに何のデータがあるのか分からない
- ・データ項目の意味がわからない
- ・誰が作ったデータで、何のためにあるのかわからない

ここでメタデータ管理の登場です。メタデータはデータ活用者にとって辞書のようなものであり、適切に管理していくことがデータアナリティクスにも必須となります。

本講演では、はじめに DX 推進におけるデータマネジメントの必要性をご理解いただき、そのデータマネジメントに欠かせないメタデータ管理について、管理の目的・管理方法・管理を担う人材の育成方法をお話しします。

< 構成 >

- ・DX推進になぜデータマネジメントが必要なのか？
- ・データ利活用の促進に必要なメタデータとは何か？
- ・メタデータの管理はどのように行うべきか？
- ・求められるスキルは何か？
- ・人材育成はどのように行うのか？

< 参加申込書 >

下記のとおり申し込みます。

		申込日	2021年 月 日
フリガナ			(所属部課)
組織名			参加者 (名前)
所在地	〒 (-)		
T E L		F A X	
メールアドレス (必須)		受講証明書	必要 ・ 不要
今後のソフトウェア開発等のセミナー開催について、上記のご連絡先宛てのご案内の可否について右の欄にご記入ください。			可 ・ 不可
〔備考欄〕			

※ご記入いただいた個人情報はセミナーに関わる連絡の用途のみに使用し、一般財団法人経済調査会が適正に管理いたします。
経済調査会のプライバシーポリシーについては、<https://www.zai-keicho.or.jp/privacy/> をご参照ください。

お申込み

上記の内容をメールまたはファックスにて下記までご連絡下さい。(本紙をファックスしていただいても結構です。)

メール: software@zai-keicho.or.jp FAX: 03-5777-8227

【受講までの流れ】

- ① メールまたはファックスでお申し込みください。
- ② 受付後に[申込受付メール]をお送りいたします。定員を超えた場合にはその旨のご連絡をいたします。申し込み後3営業日以内に連絡がない場合はお問い合わせ下さい。
- ③ セミナーは ZOOM (<https://zoom.us/>) を使用します。以下の点をご確認ください。
 - ・ ZOOM ミーティング ID・PW は、セミナー前日の10月5日(火)にメールでご案内します。
 - ・ ブラウザまたは、ZOOM をダウンロード(無料)した PC (パソコン) をご利用ください。
ZOOM の紹介>>><https://zoom.us/>
ZOOM ダウンロード>>><https://zoom.us/signup>
 - ・ スマートフォンやタブレットでの参加も可能ですが、PC での接続を前提に進行する点をご了承ください。
- ④ セミナーに使用する専用テキストはセミナー前日の10月5日(火)までにメールで配布いたします。
- ⑤ 当日は ②のメールに記載の受講者番号でご参加下さい。
- ⑥ 音声・画像の設定は主催者の指示に従ってご参加下さい。
- ⑦ 受講証明書はセミナー終了後にお送りいたします。